SIFA ニュース

NO. 106
2020 年度　秋号
(公財)鈴鹿国際交流協会

内　容

［お知らせ］
〇フランス文化理解講座開催

［報告］
〇 SUZUTOMO Café に参加
〇 鈴鹿市ベルフォンテン市青少年相互交流について
〇 Sea Garden の活動について
〇 外国につながる子どもたちの学習支援教室について
〇 多言語災害ボランティア養成講座開催

フランスセミナーをシリーズで開催！！

昨年、「貴族の暮らし」の講演で好評を得たフランスの貴公子ウイリアム青年によるフランス文化理解セミナーを、3回シリーズでオンラインで開催します。

それぞれの回に魅力的なテーマを設定して、あらゆる角度からフランスを切り取ります。

第一回:**「フランスの伝統的なマナー全般」**
11 月 8 日(日) 10 時～11 時半
第二回:**「ワインとお菓子」**
12 月 19 日(土)10 時～11 時半
第三回:**「ルイ 14 世時代の上流階級の人々の暮らし＆遊び」**
1 月 23 日(土)10 時～11 時半
講　師　:**ウィリアム　ヴェドリヌさん(フランス　リヨン出身)**
参加料　:無料
申込み　:E-mail にて、住所・氏名・電話番号とご希望の回(複数回可能)をご記入の上協会まで(sifa@mecha.ne.jp)
※参加方法
・オンライン会議ツール「Zoom」を利用
・申込み受付後、「Zoom」に参加して頂くための専用 URL とパスワードを、お申込み頂いたメールアドレスにお知らせ致します。
・オンライン受付は、9 時半より開始致します。
・Zoom への入り方についてのお問合せは、別途協会までご相談下さい。

SUZUTOMO Cafeに参加しました！

9月26日(土)、鈴鹿市社会福祉センターで開催された外国籍の方向けの相談カフェ SUZUTOMO Café に参加しました。協会職員の他、協会に登録して頂いている多言語災害ボランティアの方の中から、スペイン語と英語が話せる方に通訳として参加してもらいました。

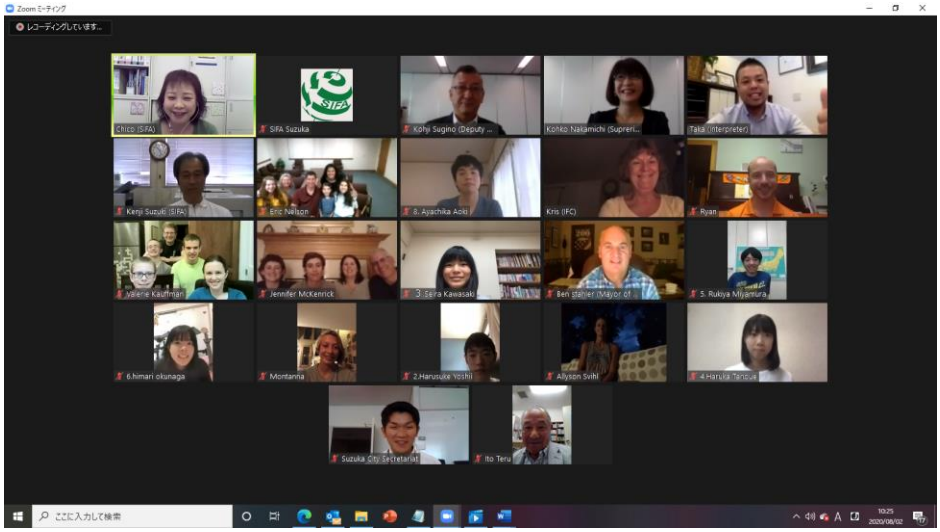
当日は、5組の相談者の方がみえました。

SUZUTOMO Café では、コロナ禍でのお金や仕事、子育てや介護などの生活上の困りごとの相談の他、行政やその他の機関の色々な支援情報などをお伝えし、来場された方にコロナウイルス感染予防グッズの提供をしました。

この Café は、12月まで毎月の最終土曜日の午前10時～12時まで開催する予定です。通訳としてご協力頂ける方は、協会までご連絡下さい。

鈴鹿市ベルフォンテン市 青少年相互交流事業 Zoom Meetingを開催しました！

本年のベルフォンテン市との交流事業は、コロナ禍で派遣生を受け入れることはできませんでした。
代わりに、８月２日(日)に、オンラインでベルフォンテン市と繋ぎ、Zoom 交流会を開催しました。



昨年度の鈴鹿市からの派遣生とホストファミリー、そして、ベルフォンテン市の市長や鈴鹿市の副市長・教育長など関係者らが画面上で集まり、旧交を温めました。

派遣生は、ステイ先での失敗談や楽しかった思い出、今、何を頑張っているか、また、将来の夢などを英語で話しました。

現在は、コロナ禍でオンライン授業ばかりで退屈だけど、インターネット環境が整わない国もあるので、現状に感謝しなければいけない、という意見が出たり、今後は、イギリスの近代史を学んで、大英博物館で世界各国の遺産を見たい！とか、医者になって世界で働きたい、外国に日本の歴史を伝えたい、コロナで中止となったカナダへの留学のリベンジがしたい！など、力強い意見がたくさん出ました。

Ben 市長やホストファミリーからも、受け入れて良かった点や、派遣生への励ましなど温かいメッセージを頂き、心温まる交流の場となりました。

文化の異なる現地で様々な体験をし、アメリカ式に家族と触れ合い、ハグをして別れた彼らだからこそ出来るオンライン交流会でした！

この事業が、次の世代の生徒たちにも提供できるよう、一日も早くコロナが収束に向かい、世界が動き出すことを祈るばかりです。

Sea Gardenの活動を紹介します！

SeaGarden は以前からブラジル人、ペルー人たちを支援していました。今年の６月からボランティア団体「SeaGarden 多文化共生サポーター」として社協に登録しました。

１０月４日には「助け合いの日」を開催し、38 名がアンケートに回答しお弁当を渡しました。生活に困っている方には食料（鈴鹿市新型コロナ対策緊急助け愛募金の助成金）や、市民から頂いた洋服、日用品を提供しました。

次回は１１月１４日の１０時から１５時までSeaGarden（寺家 3-11-11）にて、「助け合いのバザー」を予定しています。アンケートに回答するとブラジルのパステウがもらえます。洋服、食器のバザーがあります。

外国につながる児童の長期休みの学習支援教室を開催しました！

昨年に続き、夏休み期間中（お盆を除く平日）に飯野小学校にて学習支援教室を開催しました。

本年は、コロナで１学期の学習が充分に定着していなかったり、夏休みが短くなってしまったり、感染症対策を充分に施すなど、昨年とは違う活動になりました。

その中で、ワークや一行日記のほか、ポスターの制作・読書感想文・伊勢型紙体験などに取り組みました。ボランティアの皆さまには、子どもたちの横について、根気よく伴走支援をしていただき、宿題を終えられた子どもたちや、保護者から、沢山喜びの声が届きました。

冬休みも１２月 23.24.25 日と１月５日の４日間活動する予定です。ご協力いただける方は、協会までご連絡ください。

↑高校生のボランティアも活躍しました

↑バスで一緒に通って違う学校の子とも友達になりました

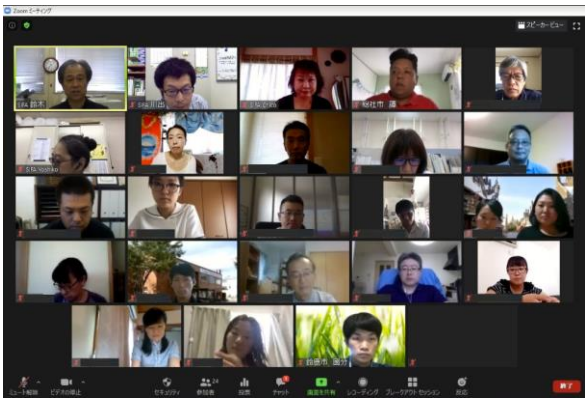
↑コンテで描いてからスプレーで定着

↑「ポスターは何の為にあるのか」を考えながら描きました。

↑伊勢型紙職人から伝統工芸のお話もありました。

↑型紙体験では、漫画「鬼滅の刃」に出てくる柄があって大興奮!!!

多言語災害ボランティア研修について



７月１９日に岡山県総社市の譚　俊偉（たん　しゅんわい）さんと Zoom でつなぎ、オンライン研修会を開催しました。

総社市では、市長の号令の下、友好都市が被災した際に職員を積極的に派遣したり、NGO の AMDA と協定を結んだり、外国人防災リーダーの育成などに取り組んできました。

東日本大震災時や、ブラジルで大規模洪水が起きた時、熊本地震の時に総社市は、積極的に職員派遣をしています。

外国人防災リーダーは、定期的に研修を積み、そこで得た知識を外国人だけでなく日本人にも発信してきました。例えば、土のうの作り方を市の総合防災訓練の中で参加者に伝えるなどです。

２年前の西日本豪雨で倉敷市真備地区が洪水被害にあった際、それまでの取組を活かして隣接する総社市から様々な支援をしました。

しかしすべてがうまくいった訳ではなく、真備地区在住の外国人に早急に避難するように呼び掛けても、「サッカーの試合を見終わってからにする」と言って逃げ遅れたり、会社の判断で技能実習生を帰宅させず会議室で待機するように伝えたところ、災害ではなく別の目的で閉じ込められたと思って不安感が増したりしたということがあったそうです。

外国人防災リーダーは、市と共に支援活動を行いました。様々な対応ができたのは、平時の外国人住民との繋がりが大きかったようです。総社市では、市の職員である譚さんを中心に普段から外国人の困りごとを聞いたり、生活情報を流したりして温かいまちづくりができていると感じました。

最後に「きっと鈴鹿にも災害時に地域で活動したい外国人はいるのでそういう人たちとつながっていくことが大事だ」と教えていただきました。

↑災害時支援活動をしたい外国人

↑総社市の外国人防災リーダー

↑西日本豪雨時の外国人の反応

◆多言語災害ボランティア研修<基礎編>のご案内

と　き：12月5日(土)　13:30-15:00

ところ：ジェフリー鈴鹿

内　容：活動の説明、避難所に設置されている多言語表示シートの確認等

申込み：12/3 までに、住所、氏名、電話番号、対応できる言語(やさしい日本語も可)を電子メールにて SIFA まで

※研修を終えた皆さんと三重県が行う災害時多言語支援センター設置運営訓練に参加します。

と　き：12月13日(日)　13:00-16:30

ところ：Zoom＆電子メール

内　容：災害時を想定した情報の翻訳、発信の図上訓練

公益財団法人鈴鹿国際交流協会（SIFA）
〒513-0801　鈴鹿市神戸 1-17-5　別館第３　TEL：059-383-0724　FAX：059-383-0639
✉ sifa@mecha.ne.jp　URL：　http://www.sifa.suzuka.mie.jp